

1. 各エリアでのガイドの充実等

<立山黒部アルペンルート、黒部峡谷>

1 TATECO※ガイドの充実

① 国立・国定公園への誘客推進事業による支援(環境省)

- ・ 立山の山岳自然文化を体験する子供向け講習会
- ・ ガイド向け新型コロナウイルス感染症対策研修の実施 など

② 美女平の資源を活かしたツアー開発を支援(県)

※TATECO=立山エコツーリズム研究会の略称。立山地域でのエコツアーの推進を目的にH29.11に設立。山岳ガイドや通訳案内士、地元事業者等が会員



TATECOガイドの室堂散策ツアー



黒部川でのキャニオニング

2 インバウンドの需要回復を見据えた取組み

① 滞在コンテンツの充実(とやま観光推進機構)

- ・ 地域資源を活かした滞在型コンテンツの商品化
(曼荼羅散策マップで巡る立山信仰体験、黒部峡谷キャニオニング)

今後、コロナの状況を踏まえ、とやま観光推進機構等がOTA等を活用して販売

② インバウンド対応の充実(黒部峡谷鉄道)

- ・ 客車内の観光ガイド音声、駅の構内アナウンス、電光掲示板の多言語化等

<黒部ルート>

1 黒部ルート内における情報端末の通信状況調査(県)

ガイドの満足度を高めるため、黒部峡谷鉄道及び黒部ルート(宇奈月駅～黒部ダム間)でのイヤホンガイドやタブレット端末の動作確認、効果の検証を実施

<調査結果>

① イヤホンガイド

- ・ 高熱隧道といった特殊な環境下でも良好な動作を確認
- ・ 騒音の激しいトンネル内においても、案内人の説明がクリアに
- ・ 大声を出さずに離れた所(遮蔽物無しで100m程度)まで聞こえ、三密対策に効果
- ・ イヤホンのクリーニングなど衛生面が課題

② タブレット端末

- ・ フリップ(公衆見学会使用)をタブレットに代えても、見え方に大きな違いなし
 - ・ 大型の端末は想定以上に重量があり、案内人に大きな負担
- 旅行商品への活用には、投影するコンテンツの充実等の工夫が必要

2 ガイドの養成に向けた研修体制の検討(県)

公募見学会をもとに、養成プログラムやガイド時のシナリオの見直し等を実施中

<宇奈月温泉街等の魅力創出等>(黒部市)

- 有料ガイドの組織化(4月)、研修の実施
- 各旅館・ホテルの従業員の知識養成 等

2. プロモーション準備

令和3年度 立山黒部アルペンルート全線開通50周年
令和4年度 弥陀ヶ原・大日平ラムサール条約登録10周年
令和5年度 宇奈月温泉開湯100周年、黒部ダム60周年

今後の周年イベント等の好機も活かして、計画的にプロモーションを実施するため、R2年度中にPR映像、ホームページ、パンフレットを制作(県)

- ・ 黒部ルート内等の魅力ある資源の映像(4K、VR)等を収集済み
- ・ 4K映像の一部は、関西電力㈱より提供

○PR映像(イメージ)

・ 視聴者を惹きつける「圧倒的な絶景」と自身を投影できる「人の表情」を取り入れ、大自然の中に存在する黒部ルートの意義や電源開発の歴史が感じられる映像



○ホームページ、パンフレット(イメージ)

- ・ 黒部ルートの希少性や、歴史的背景を盛り込んだ構成



関西電力「世紀の大工事」サイトより

3. 携帯電話不通エリア、Wi-Fi未整備エリアの解消

① Wi-Fi未整備エリアの解消(2019年4月供用開始)
観光客の散策ルート上の山荘等4箇所にWi-Fiを整備(県)

② 弥陀ヶ原への商用電源供給設備の整備(2020年4月供用開始)
大観峰～弥陀ヶ原間の商用電源供給設備を整備(県)

③ 携帯電話不通エリア解消(2020年10月供用開始)
「一ノ越～五色ヶ原」の携帯電話不通エリアの解消
(立山町、携帯電話事業者、県)



④ 携帯電話の不通エリア解消に向けた電波調査(2020年度)(県)